

特許取得から ビジネスプランの策定まで 創業時のメンターとして活用！



利用のきっかけ

★ 2020年に新形状の財布（多様に変化する折りたたみ財布）を、実用新案登録による保護を視野に入れINPIT知財総合支援窓口にご相談。二つ折り、三つ折り、小さなミニ財布にも変身する機能は例を見ず、アイデア模倣の恐れから特許権の取得を考えました。当初は、知財戦略によって売り上げの拡大を考えていたわけではありませんが、結果的には支援を受けたことで多面的な知財メリットを享受することができました。

事業上の課題

★ 構造的に特徴がある革製品は模倣されやすく、アイデアの模倣対策を怠ると類似商品が市場に出回り競争力が低下します。また当時は、異業種からの独立を考えていたため、自社製品の独自性保護はもちろん、独立後の事業戦略やビジョンの構築などが課題としてありました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ①特許権取得支援
- ②商標・意匠登録取得支援
- ③事業戦略構築支援
- ④独立・法人化支援

活用した専門家 弁理士 中小企業診断士 行政書士

ステータシー株式会社

所在地	滋賀県大津市
設立年	2021年
業種	小売業
従業員数	5人
資本金	300万円
ホームページ URL	https://statusy.jp/



知財ポータル
窓口支援事例



情報通信業

近畿

利用後の変化

弁理士による特許出願、商標・意匠登録出願手続き支援、中小企業診断士による事業戦略構築支援、行政書士による法人化手続き支援など、すべての窓口になってくださったのがINPIT知財総合支援窓口の支援担当者です。

その結果、折りたたみ財布（特許出願、商標出願）、極小長財布3種（意匠出願、商標出願）はクラウドファンディングで目標金額を大幅に超える（14715%）を達成。また、各財布のブランド名は商標登録済みで、極小長財布の意匠も弁理士の助言を活かし登録済み。コロナ禍でも大幅の売上増となりました。

ご利用を検討される事業者さまへ



2021年に独立するまで革製品の事業は副業でした。独立の意志は強くありましたが、家族の暮らしや住宅ローンのことを考えると不安でした。そのさなかで、新形状の折りたたみ財布の特許出願について、INPIT知財総合支援窓口にご相談したことがきっかけとなり、人生が劇的に変わりました。

自分のアイデアに権利を与えて、その価値を最大化してくれるのが特許権です。しかしそれ以前に、権利を活用してどのようなビジネスプランを描くかが肝心です。そのメンターとなり支援の手を差し伸べてくれたのがINPIT知財総合支援窓口です。心から感謝しています。

ステータシー株式会社 代表取締役 田中比呂達様